

ゲノム編集の現在地

社会とともにある科学研究

会場 日本科学未来館 7階 未来館ホール



主催 文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会 後援 大阪大学21世紀懐徳堂、日本科学未来館
 共催 文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成「先端モデル動物支援プラットフォーム」
 「先端バイオイメージング支援プラットフォーム」、「先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム」、日本ゲノム編集学会、内閣府

定員 200名 (事前申込制)
 入場無料

2019.9.14 (土) 13:00-17:00 (開場・受付 12:30)

お問合せ 大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学 email: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp

参加登録 <https://www2.med.osaka-u.ac.jp/eth/seminar/20190914/>



社会との接点活動誌

※未来館の常設展、企画展への入場は別途料金が必要です。

ゲノム編集の現在地 - 社会とともにある科学研究 -

いま世界中で、「ゲノム編集」をめぐる様々なニュースが飛び交っています。学術研究の発展とともに、その枠を超えて、医療や植物・食品など、広く社会における応用が模索されているのです。

私たちは「ゲノム編集」という言葉に触れると、これまでにない全く新しい技術で、私たちの生活を大きく変えるのではないだろうか、という——不安と希望の入り混じった——イメージを抱きます。

では、「ゲノム編集」とはいったいどんな技術なのでしょう？どのような科学研究が営まれていて、どのような応用の可能性が開かれているのでしょうか？今回のシンポジウムでは、最先端の科学に携わる方々を招き、こうした問いを市民のみならずと一緒を考えていきます。

プログラム

- 13:00 開会の挨拶 井上 純一郎
- 13:10 講演①「ゲノム編集とはどんな技術なのか - 基本原理と可能性 -」 山本 卓
- 13:40 講演②「ゲノム編集マウス作製と生殖医学研究への応用」 伊川 正人
- 14:30 講演③「ゲノム編集技術を用いた画期的な遺伝子治療開発と課題」 山口 照英
- 15:00 講演④「市民は何を期待し、何を恐れているか……そもそもきちんと伝わっているか？」 詫摩 雅子
- 15:50 パネルディスカッション
指定発言① 青野 由利
指定発言② 加藤 和人
- 16:50 閉会の挨拶 加藤 和人



※未来館の常設展、企画展への入場は別途料金が必要です。

日時 2019年9月14日(土) 13時 - 17時 (開場: 12時30分)
会場 日本科学未来館 7階 未来館ホール

スピーカー



井上 純一郎
(いのうえ・じゅんいちろう)
東京大学
医学研究所・
生命科学連携推進協議会



山本 卓
(やまもと・たかし)
広島大学大学院
統合生命科学研究所・
日本ゲノム編集学会



伊川 正人
(いかわ・まさひと)
大阪大学
微生物病研究所



山口 照英
(やまぐち・てるひで)
金沢工業大学・
日本薬科大学薬学部



詫摩 雅子
(たくま・まさこ)
日本科学未来館



青野 由利
(あおの・ゆり)
毎日新聞論説室
専門編集委員



加藤 和人
(かとう・かずと)
大阪大学大学院
医学系研究科・
内閣府生命倫理専門調査会

参加登録

ご参加希望の方は下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

<https://www2.med.osaka-u.ac.jp/eth/seminar/20190914/>



お問合せ

大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学

email: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp

アクセス

日本科学未来館 7階 未来館ホール

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6

<https://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

- ・新交通ゆりかもめ 「東京国際クルーズターミナル駅(旧船の科学館駅)」より徒歩約5分
- 「テレコムセンター駅」より徒歩約4分
- ・東京臨海高速鉄道りんかい線 「東京テレポート駅」より徒歩約15分

主催 | 文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会

共催 | 文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成「先端モデル動物支援プラットフォーム」

「先端バイオイメージング支援プラットフォーム」、「先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム」、日本ゲノム編集学会、内閣府

後援 | 大阪大学21世紀懐徳堂、日本科学未来館

